



# 神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会ニュース

平成18年8月25日 第3号発行  
事務局 県立青少年センター  
科学情報課 Tel 045-263-4469  
E-mail  
seisho.0230.joho@pref.kanagawa.jp

## 「子ども科学探検隊」順調に進む

6月24日神奈川工科大学に始まり、夏休みの8月19日産業技術センターまで、2ヶ月の間に県内各地の6施設を、元気に訪れました。保護者の方も大勢参加し、熱心に話を聞いていました。夏休みは、それぞれのご家庭の予定もあり、参加者が少ないようでしたが、楽しみにしている隊員も多く、有意義な時間を過ごしていました。協力していただいた各施設には心から感謝しております。有難うございました。

### 子ども科学探検隊年間計画(平成18年度)

実施日	見学・実習施設
4/23(日)	県立青少年センター(午前) 野毛山動物園(午後・横浜)
5/13(土)	東芝科学館(川崎)
6/24(土)	神奈川工科大学(厚木)
7/28(金)	環境科学センター(平塚)
7/31(月)	県立産業技術短期大学(横浜)
8/3(木)	温泉地学研究所(午前・小田原) 生命の星・地球博物館(午後)
8/8(火)	海洋研究開発機構(横須賀)
8/19(土)	産業技術センター(海老名)
9/24(日)	湘南台文化センターこども館(藤沢)
10/14(土)	横浜こども科学館(横浜)
11/12(日)	味の素株式会社(川崎)
1/21(日)	川崎市青少年科学館(川崎)
2/4(日)	三菱みなとみらい技術館(午前・横浜) 県立青少年センター(午後)

参加者 23人  
保護者 11人

#### <参加者の声>

・大学を見て回れるのは他にない企画で良かったです。  
・大学って面白いんだ、楽しいところなんだと思いました。  
・大学と小中高の違いがわかった。  
・顕微鏡で花粉を見るのが初めてだったのですごく楽しかった。  
・介護者用のパワーアシストに感動した。つけている人に負担がかからないし、少しの力で重いものを持ち上げられる。こんな物を開発できたなんてすごい。  
・パワーアシストスーツを見て人類の科学が進歩していることを感じました。また、大学生との話でロボットの研究やいろんな事が楽しくわかりました。「自分で進んで物事を決めて、責任を持ってやる」という言葉に勇気づけられました。

### 神奈川工科大学



### 環境科学センター(環境マップの作成)

参加者 26人  
保護者 6人

#### <参加者の声>

・化学薬品を実験したことが一番楽しかった。実際薬品を入れるときにドキドキした。  
・環境マップを作るのが楽しかった。パソコンでやれた事と自分で作った事がなかったからです。だけど意外と難しかった。



・水素ガスでモーターカーを動かす実験が面白かった。近い将来水素ガスを利用した車、飛行機等ができると地球温暖化は起こらないのと思いました。また、化学反応で液体を入れると色が変わるのには驚きました。でも科学実験は事故が心配で慎重にやるように心がけました。  
・音の実験、電子顕微鏡、化学実験なども実験でもとても貴重な体験をさせていただき有難うございました。(保護者)

### 産業技術短期大学

参加者 23人  
保護者 7人

#### <参加者の声>

・マイコンカーが楽しかった。設定をみな100にしたのに他にチームに勝てなくて不思議だった。オルゴールもLEDランプを好きなように光らせられ楽しかった。校内見学で、いろいろな機械が見れてすごかった。



・マイコンカーのプログラミングが楽しかった。なかなか作るのが難しかったけど、できたときは達成感があった。  
・車作りが自分で好きなようにでき、パソコンが身近に感じた。校内巡りも先生は優しく話し易かった。コンピュータを使ったロボットはすごいと思った。お兄さんお姉さんが優しく話し易かった。  
・全部楽しかった。旋盤やロボット、生徒の作品など普段見れない物を見たり触れたりでき大変面白かった。車のプログラミングや電子オルゴールも初めての経験でした。わからなくて困ったときもすぐにサポートしていただき良かった。子ども達も最後まで楽しく過ごせて有意義な一時を過ごすことができました。(保護者)

生命の星・地球博物館



参加者 18人  
保護者 11人

- ・火山の噴火実験では、普通の噴火と火砕流の違いがわかりました。
- ・山の模型を使った火山噴火実験では煙の濃さであがり方が違うことがわかった。また、空気中と水中では砂の落ち方が違うことがわかった。
- ・実験は火山噴火もししま地層もすごく面白かった。地層はお土産にできてうれしかった。剥製や骨格模型を見ることができ「感動!!」した。機会があれば「絶対また来たい!!」と思った。
- ・館内をもう少し見学したかった。

温泉地学研究所 マジックレター作り



参加者 18人  
保護者 11人

- ・マジックレターが面白かった。家でもやってみたくなりました。
- ・透明のエタノールで字を書いてみても見えないけれども酸性の温泉水をローラーに付けてこするとピンク色になるところが面白かった。
- ・温泉についての話を聞いた事が楽しかった。最初「温泉とは何か?」と聞かれた時少し悩みました。言葉の中にならわかっていようでわかっていないものがあると感じました。温泉のことがいろいろわかり楽しかったです。

海洋研究開発機構



参加者 19人  
保護者 12人

- ・カップヌードルの容器が水圧であんなに小さくなるとは驚きでした。
- ・ヘリウムガスと酸素を吸った人の声を聞くのが楽しかった。
- ・深海巡航探査機を見学できたことが一番うれしかった。
- ・「うらしま」の浮力材が硬くて重いのが意外だった。
- ・ロープワークが面白かった。3~4秒ですべてできたものもあった。カップヌードルの容器が縮んでいく様子が印象深い。

産業技術センター



燃料電池作り

参加者 17人  
保護者 11人

- ・「無郷室」が面白かった。
- ・プラスチックも電気を通すことがわかった。
- ・燃料電池車に乗ってよかったが、その費用が1億円かかるというので驚いた。
- ・伝導プラスチック作りが楽しかった。
- ・お皿とコップ作りは、自分でデザインできてよかった。
- ・産業技術センターの設備自体がすばらしくびっくりしました。サイエンスサマーも見学できうれしかったです。燃料電池で走る自動車「値段にビックリ!!」(保護者)

KAST (神奈川科学後術アカデミー)

青少年科学技術フェスティバル2006

日時 2006年9月3日(日)  
13:00 ~ 17:00

対象 中学・高校生(事前申込必要)

場所 KSPホール

定員 120名

県立生命の星・地球博物館

投稿ビデオ募集中

あなたの作品を博物館で上映しましょう

第40回  
神奈川県青少年  
科学作文  
コンクール  
募集中  
(協議会主催)

募集機関

平成18年8月1日 ~  
平成18年10月10日

課題(テーマ)

理科(物理、科学、生物、地学)やエネルギー・環境問題等の研究や実験、創意工夫したことなどについて、作文形式にまとめたもの。

応募資格

県内に在住または在学の小学生、中学生、高校生、及び20歳未満の学生を除く青少年で、1人または5人程度までのグループ。

発表

平成18年12月上旬までに入賞者に通知します。

表彰式

平成19年1月28日

新会員加入のお知らせ

相模原市立相模川ふれあい科学館、日本アイ・ビー・エム株式会社の2団体が、新たに協議会に加盟し、会員数は53団体、2個人会員となりました。

青少年センター

自然観察会(小網代)  
9月23日(土)10時~  
参加者(中高生)募集中  
9月11日締め切

事務局からのお知らせ

協議会ニュース(年6回発行予定、次号は10月上旬発行予定)に掲載をするイベント等がありましたら事務局へポスター、チラシ等をお送りください。青少年センターでも配架を行っています。